

第2節 仕事と子育てを両立できる環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載 ページ	事業
34	家庭生活への男女共同参画の促進	家庭生活への男女の共同参画を促進するため、啓発や各種講座の充実を図ります。	男女共同参画の啓発のため、男女共同参画情報誌「たいむパレット21」を作成、発行。 発行部数:5,000部	人権・男女共生課	58	男女共同参画に関する啓発
34	小・中学生夏休み講座	子どもの頃から男女共同参画について考える講座を継続して実施します。	市内の小学生を対象に小学生夏休み講座「くらしを考えよう!」、 「そば打ち体験」を開催。 全2回講座、参加者 44人	人権・男女共生課	58	男女共同参画に関する啓発
34	両親教室(パパ&ママクラス)	出産や育児に関する疑問を解消したり、知識を身につけられる場として、妊婦とその夫がともに参加しやすいように、医療機関等との役割分担・連携の強化を図り、魅力ある内容の工夫に努めます。	妊婦やその夫に対する妊娠中の健康管理を図るとともに出産や育児に関する知識を普及。 パパ&ママクラス 36回 888人 ブレババクラス(日曜日開催) 1回 30人	保健医療課	59 74	両親教室
34	父親対象の子育て支援講座	父親と子どもが、遊びを通してふれあう機会の提供を継続して実施します 「お父さんといっしょにたのしく遊ぼう」 「親子でたのしく遊ぼう」	1歳から就学前の子どもと保護者対象に「親子でたのしく遊ぼう」を実施。 開催回数 8回 参加者 保護者162人 子ども159人	人権・男女共生課	59	父親対象の子育て支援講座
35	育児休業制度の普及啓発	育児休業制度の定着を図り、利用しやすい環境づくりを企業に働きかけます。市民・企業に対して、パンフレットや広報誌による啓発を促進します。	市広報誌10月号に啓発記事掲載。 課窓口に関係リーフレットを掲出。	商工労政課	60	育児休業制度の普及・啓発
35	地域就労支援事業の推進	働く意欲がありながら様々な就労阻害要因を抱えるため、雇用・就労が実現できない就労困難者や就労意欲の希薄な若年者を対象に、コーディネータによる相談を通じ、求人情報の提供や職業能力訓練校への誘導などの支援を関係機関と連携し、継続して実施します。	平成21年度より地域就労支援事業を就職サポート事業として再構築し、直接就職に結びつく就職面接会やスキルアップ講座等を実施。 相談件数 延べ217件 介護事務講座(1回目) 受講者20人、介護事務講座(2回目) 受講者30人、面接対策セミナー 参加者16人、就労支援フェア(1回目) 参加者450人(採用件数21件)、就労支援フェア(2回目) 参加者275人(採用件数19件)、障害者就労支援フェア参加者83人(採用件数7件)、三市一町合同就職フェア 参加者352人(採用件数22件)	商工労政課	60 77	就労支援

第2節 仕事と子育てを両立できる環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載 ページ	事業
36	職場環境整備の啓発	仕事と子育てを両立できる職場環境の整備を図るため、国や大阪府の情報を広報紙等を通じて、その周知・啓発に努めます。	市広報誌10月号に啓発記事掲載 課窓口に関係リーフレットを掲出 ワークライフ・バランスセミナー 参加者66人	商工労政課	59	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についての啓発
36	女性労働者の雇用管理等に関する実態調査	市内事業所における女性を取り巻く職場環境及び労働条件をはじめとする労務管理の改善・福利厚生の充実などの調査を4年毎に実施し、実態把握に努めるとともに、広報紙等を通じてその周知・啓発に努めます。	—	商工労政課	59	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についての啓発
36	待機児童の解消	既存保育所の定員の見直しや弾力化等を継続して実施します。	各保育所・園の定員の弾力化を実施。 新設(私立) 1園 定員90人 定員変更(私立) 4園 定員90人増	保育課	61	保育所の整備
36	施設の整備	老朽化した保育所の整備、多様な保育サービスに対応できるように、安全等に配慮した施設整備を継続して推進します。	屋上防水工事 1か所 電子ロック錠設置 4か所	保育課	61	保育所の整備
37	乳児保育	産休・育休明け保育を継続して実施し、仕事と子育ての両立を支援します。	産休・育休明け保育を実施。	保育課	後期計画書に不掲載	
37	延長保育	私立保育園と協調しながら保育時間の延長に努めるとともに、可能な限り利用しやすい保育の充実を今後も図ります。	市立保育所12か所 私立保育園26か所 後30分延長6か所 前後30分延長14か所 後1時間延長13か所 後2時間延長2か所 後2.5時間延長3か所	保育課	61	延長保育

第2節 仕事と子育てを両立できる環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載 ページ	事業
37	一時保育	保護者の急な外出や病気のため、家庭で子どもの保育ができない場合、一時的に子どもを預かる制度の充実を今後を図ります。	私立保育園21か所を実施。	保育課	54 61	一時預かり(一時保育)
37	障害児保育	障害児の保育の充実に努めます。また、療育施設と協力・連携を図り、障害児の支援に努めます。	障害児枠入所 公立20人、私立20人 加配保育士 公立41人、私立51人	保育課	62	障害児保育
37	病後児保育	現在保育サービスを利用している病気回復期の子どもを受け入れる制度を実施します。	私立保育所 2か所(定員4人)	保育課	61	病児・病後児保育
37	ショートステイ(緊急一時預かり)	保護者の病気や出産などで子どもの養育ができない場合、緊急に対応できるよう、児童養護施設との連携を図り、継続して実施します。	市内3カ所の児童擁護施設で実施。 実利用者12人 利用日数95日	子育て支援課	54 61	ショートステイ
37	トワイライトステイ(夜間の預かり)	保護者の仕事などが恒常的に夜間にわたるひとり親家庭の子どもを預ける場合に対応できるよう、児童養護施設との連携を図り、継続して実施します。	市内3カ所の児童擁護施設で実施。 平成21年度は利用なし	子育て支援課	54 61	トワイライトステイ
37	休日保育	民間活力の導入を含めた検討を行います。	私立保育園1か所を実施。	保育課	61	休日保育

第2節 仕事と子育てを両立できる環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画(前期)掲載内容		21年度の取り組み及び実績	担当課 (平成22年4月1日以降)	後期計画掲載内容	
	事業	今後の計画・方向性			掲載 ページ	事業
37	家庭保育施設	認可保育所に入所できない場合も保育に欠ける乳幼児を預けられるように、保育施設への斡旋を今後も進めます。	開所3か所に 13人入所。	保育課	61	家庭的な保育の活用
37	家庭保育施設への助成	家庭保育施設に斡旋した児童の処遇改善や健全育成、運営の円滑化を図るために助成を継続して行います。	保育助成金及び施設助成金 7,188,682円	保育課	61	家庭的な保育の活用
38	留守家庭児童会	放課後、保護者が家庭にいない小学校低学年児童の健全育成のために、事業内容の充実に努めます。	平成22年3月31日現在、小学1年生517人、小学2年生376人、小学3年生318人、小学5年生1人 合計1,212人	学童保育課	62	留守家庭児童会の充実
38	指導者への研修	留守家庭児童会の指導者の資質の向上を図るため、研修内容の充実に努めます。	開催回数10回 参加者延884人	学童保育課	62	留守家庭児童会指導者の研修